## 2022年度活動概要　　談話行動研究会

談話・語用論研究を応用した、語彙研究やヘルス・コミュニケーション研究をテーマに、講師を招き公開講演会を開催した。

[特別講演会]
日時：2022 年 12 月 10 日（金）18：00 - 19：00
講演１：Dr Phoebe Lin
Department of English and Communication, Hong Kong Polytechnic University
*The learnability of English formulaic expressions: A normative database and a predictive model*
講演２：Dr Alex Gilmore
Department of Civil Engineering, University of Tokyo,
*Enhancing Japanese language learners' use of web-based lexicographic tools for academic writing*
講演３：Dr Neil Millar
Department of Computer Science, University of Tsukuba
*Hype in medical research writing*
場所：Zoom 開催

[特別講演会]
日時：2023 年 3 月 29 日（水）13：00 - 14：30
講演１：Dr Sarah Atkins
Aston Institute for Forensic Linguistics, Aston University
*Evaluating professional communication skills in medical education: an interactional sociolinguistic perspective*
講演２：Prof Stephen Timmons
Healthcare Innovation in the Centre for Health Innovation, Leadership and Learning, Nottingham University Business School
*The wider social context for communication in health care*
場所：Zoom 開催

本年度第一回目の研究会では、語彙と談話・語用論研究をテーマに、香港から Phoebe Lin 氏をお招きし、日本在住の研究者 2 名と共に３つの講演を含むセッションを企画した。Lin 氏は語彙研究のなかでも英語学習者の formulaic expressions とその prosody の習得について研究されており、独自開発した YouTube 動画を用いた学習用オンライン・システムについても紹介くださった。自動音声認識によるスピーキング評価機能もあり、ICT と英

語教育という観点からも興味深い講演・議論の場となった。

第二回研究会は、ヘルス・コミュニケーションと談話・語用論研究をテーマに、医療の場をフィールドに活躍する研究者を英国よりお招きし、ご講演いただいた。Atkins 氏は英国の General Practitioners（総合診療医）教育の一環である、診療シミュレーション訓練時の会話を収録したコーパスを構築し、そのインタラクションを量的・質的に分析した研究について講演された。社会学者の Timmons 氏は、医療の場で社会的に構築される職種グループとその境界の流動性について、Ethnography を用いた研究についてお話くださった。昨年度に引き続き両研究会ともに Zoom での開催であったが、講演後、参加者からの質問をきっかけに、講演者間でさらに深い議論がなされるなど、充実した研究会となった。次年度も、講演会や研究発表会を企画している。